

## 29) 健康管理科臨床研修プログラム

研修医氏名

指導医氏名

### I. 一般目標

疾病における予防の重要性を理解し健診業務を遂行できるようになるために、健診業務における基本的な知識を習得し、技能や態度を身に付ける。

### II. 経験目標

#### A. 経験すべき診察法・検査・手技

##### II-A- (1) 医療面接

★明朝体：経験が必要とされる項目

患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接を実施するために、

		研修医評価	指導医評価
★	1) 医療面接におけるコミュニケーションの持つ意識を理解し、コミュニケーションスキルを身に付け、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる。	A B C D	A B C D
★	2) 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー）の聴取と記録ができる。	A B C D	A B C D

##### II-A- (2) 基本的な身体診察法

病態の正確な把握ができるよう、全身にわたる身体診察を系統的に実施し、記載するために、

		研修医評価	指導医評価
★	1) 全身の観察（バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む）ができ、記載できる。	A B C D	A B C D
★	2) 頭頸部の診察（眼瞼・結膜、眼底、外耳道、鼻腔、口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む）ができ、記載できる。	A B C D	A B C D
★	3) 胸部の診察（乳房の診察を含む）ができ、記載できる。	A B C D	A B C D
★	4) 腹部の診察ができ、記載できる。	A B C D	A B C D

##### II-A- (3) 基本的な臨床検査

		研修医評価	指導医評価
	1) 一般尿検査（尿沈査顕微鏡検査を含む）	A B C D	A B C D
	2) 便検査（潜血、虫卵）	A B C D	A B C D
	3) 血算・白血球分画	A B C D	A B C D
	4) 心電図（12誘導）	A B C D	A B C D
	5) 血液生化学的検査 ・簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）	A B C D	A B C D

### C. 特定の医療現場の経験

#### II-C- (1) 予防医療

予防医療の理念を理解し、地域や臨床の場での実践に参画するために、

		研修医評価	指導医評価
★	1) 食事・運動・休養・飲酒・禁煙指導とストレスマネジメントができる。	A B C D	A B C D
★	2) 地域・産業・学校保健事業に参画できる。	A B C D	A B C D
★	3) 予防接種を実施できる。	A B C D	A B C D

II-D-その他

		研修医評価	指導医評価
☆	1) 予防医療	A B C D	A B C D
☆	2) 人間ドック	A B C D	A B C D
☆	3) 一般健康診断	A B C D	A B C D
☆	4) 各種予防接種	A B C D	A B C D
☆	5) 生活習慣病	A B C D	A B C D
☆	6) ストレス	A B C D	A B C D
☆	7) 人間ドックに参画	A B C D	A B C D
☆	8) 職場健診に参画	A B C D	A B C D

評価方法：A. B. C. Dの4段階とするが、オーダー入力画面では下記（ ）で示されている ・能力を問う項目 A (◎)：確実にできる、自信がある                      B (○)：だいたいできる、たぶんできる C (△)：あまり自信がない、ひとりでは不安である                      D (×)：できない ・経験を問う項目 A (H)：11例以上      B (L)：6～10例      C (M)：1～5例      D (N)：0例			
---	--	--	--

☆ゴシック体：II-D-その他は当該科で経験が必要とされる項目

1) . 研修指導体制

1. 担当指導医
  - a. 研修医1名に対して1名の担当指導医を置く。
  - b. 担当指導医は、全研修期間を通して研修の責任を負う。
  - c. 必ず1日1回研修医と連絡をとり、研修予定・研修内容をチェックする。
  - d. 必要に応じて、個別に指導し、また、研修スケジュールの調整を行う。
  - e. 不在の際の責任体制・報告体制を研修医に示す。
2. 外来看護師、事務など「指導者」も積極的に研修医の指導に当たる。

2) . 研修方略

1. 講義とOJTを中心に行っていく。
2. オリエンテーション（第1日、担当指導医）指導医要綱に沿って行う。
  - a. 自己紹介
  - b. 研修の目的、実務、勉強会、注意事項に関して
  - c. プログラムに沿った科の特殊性と習得すべきポイント
  - d. 医療事故発生時の対応に関して
  - e. スタッフへの紹介（外来、病棟への案内と紹介）
3. 外来研修（担当医、上級医）
  - a. 健診の見学を行う。
  - b. 指導医の指導の下、健診業務を行う。
  - c. 禁煙外来の見学を行う。
  - d. 予防接種を行う。
4. カンファレンス、勉強会
  - a. ふりかえりカンファ（毎日）
  - b. 勉強会（適宜）
5. 終了面接（担当指導医）
  - a. 最終週の金曜日（または木曜日）に行う。
  - b. 経験症例の確認と到達度。
  - c. 感想と要望。
  - d. 終了後速やかに「自己評価表」「科評価及び指導医評価表」を記載し、提出する。

### 3) . 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	健診	健診	健診	健診	健診
午後	健診結果作成	肺炎球菌ワクチン	健診結果作成	禁煙外来	健診結果作成

### 4) . 研修評価項目

- 自己評価と指導医評価を規程に従い、研修終了後に入力する。形成的に評価を行う。
- 共通Aの評価表を規定に従い入力する。

研修全般に対する総合評価		研修医評価	指導医評価
1)	仕事の処理	A B C D	A B C D
2)	報告・連絡	A B C D	A B C D
3)	患者への接し方	A B C D	A B C D
4)	規律	A B C D	A B C D
5)	協調性	A B C D	A B C D
6)	責任感	A B C D	A B C D
7)	誠実性	A B C D	A B C D
8)	明朗性	A B C D	A B C D
9)	積極性	A B C D	A B C D
10)	理解・判断	A B C D	A B C D
11)	知識・技能	A B C D	A B C D